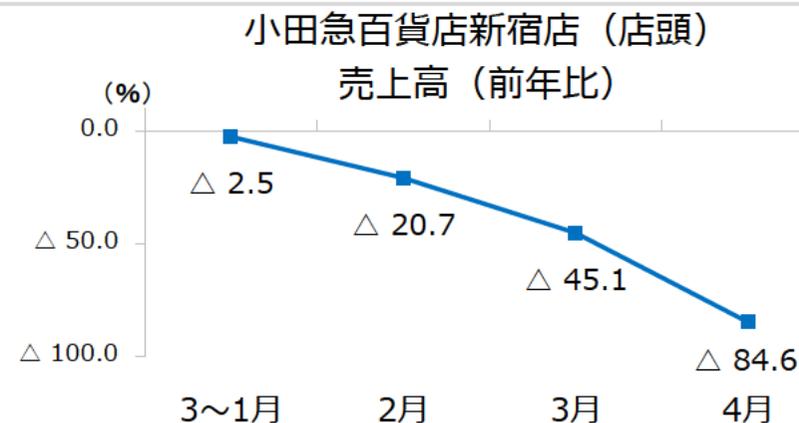
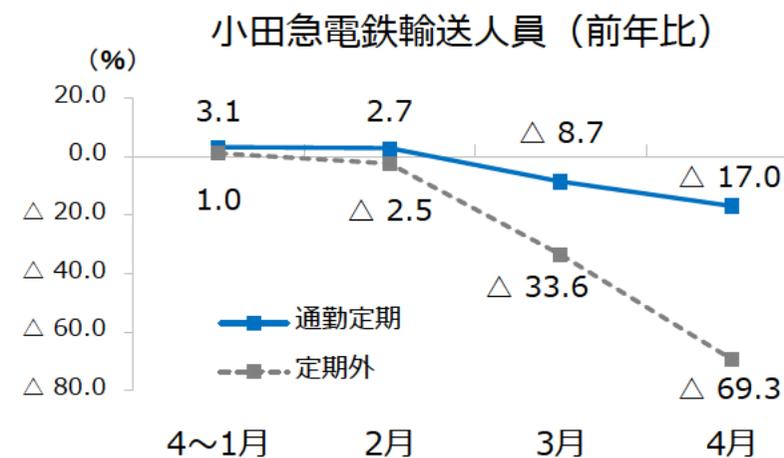




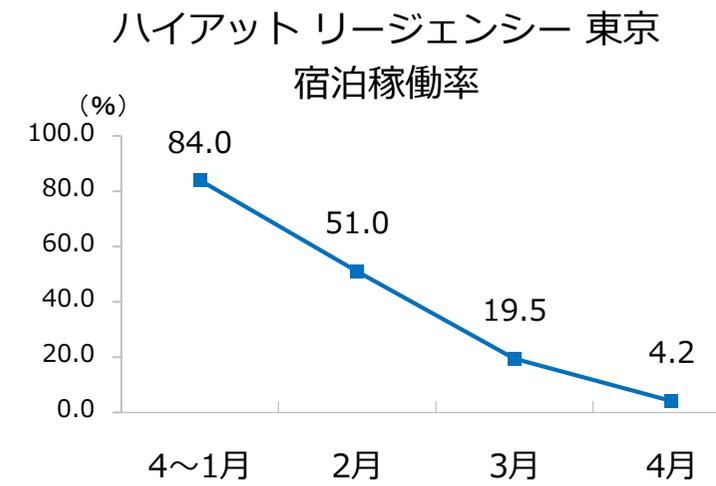
# 2020年3月期 決算説明資料

2020年5月14日

	影響額 (2019年度)		各事業の状況
	営業収益	営業利益	
合計	約98億円	約49億円	
運輸業	約42億円 うち当社 約28億円	約30億円 うち当社 約23億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 鉄道 通常運行 (特急一部運休)</li> <li>■ バス ダイヤ変更 高速バス路線など一部運休</li> <li>■ 箱根観光船・箱根ロープウェイ 4月10日から全面運休</li> </ul>
流通業	約15億円	軽微	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 小田急百貨店 3月2日から営業時間短縮 4月8日から食料品フロア以外を 臨時休業</li> <li>■ ストア店舗 営業時間短縮</li> </ul>



	影響額（2019年度）		各事業の状況
	営業収益	営業利益	
不動産業	軽微	軽微	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 商業施設は一部を除き全館休業</li> <li>■ 入居テナントに対する賃料減免を実施</li> </ul>
その他の事業	約4.1億円	約1.9億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ホテル                             <ul style="list-style-type: none"> <li>シティホテル 宿泊は通常営業</li> <li>箱根リゾートホテル 4月26日から全館休業</li> </ul> </li> <li>■ レストラン 営業時間短縮・一部店舗休業 4月29日から全店舗休業 (5月7日から一部店舗は営業時間を短縮して営業再開)</li> </ul>



## 基本方針

- 小田急グループが社会に対して果たすべき役割・責任を守る
  - 鉄道事業等における安全・安定運行の維持をはじめ、小田急グループ全体でお客さまの暮らしを支える
  - お客さまの感染防止など安全確保
  - 従業員の雇用維持・安心して働ける環境づくり

## 環境認識

- 今後 1 年程度
  - 外出抑制は一定の条件で緩和、国内の経済活動は段階的に再開される
  - 外出規制解除により国内経済は正常化に向かうもソーシャルディスタンスへの意識や政府等による再規制の可能性が残る
- アフターコロナ
  - 消費者の行動やメンタリティに不可逆的な変化が起こる可能性
    - コロナショック以前の事業環境には戻らない

## 対応

- 今後1年程度における対応
  - 支出抑制
    - ・ 各費用項目の抜本的な見直し
    - ・ 安全確保を絶対としつつ、設備投資など実施予定施策の抜本的見直し
  - 資金繰りへの対策
    - ・ CP・社債発行などにより約600億円を確保済み
    - ・ 急激な資金繰りの悪化を想定した体制を構築済み
- アフターコロナを見据えた対応
  - 中長期施策の見直し
    - ・ コロナショック以前に戻るという発想ではなく「アフターコロナ」を意識して、数値目標や現在推進している具体的施策を見直すほか、新たな収支構造へ変革する契機とする

単位：百万円	2018年度	2019年度	増減	2019年度見込 (2020年2月公表)	増減
営業収益	526,675	534,132	+7,456 (+1.4%)	544,800	△10,667 (△2.0%)
運輸業	179,293	173,174	△6,118	177,700	△4,525
流通業	210,681	206,563	△4,117	208,200	△1,636
不動産業	69,006	80,478	+11,472	83,000	△2,521
その他の事業	106,937	112,256	+5,318	116,000	△3,743
調整額	△39,242	△38,340	+902	△40,100	+1,759
営業利益	52,089	41,103	△10,986 (△21.1%)	47,000	△5,896 (△12.5%)
運輸業	29,265	21,641	△7,624	24,400	△2,758
流通業	2,960	4,373	+1,413	4,300	+73
不動産業	13,759	12,940	△819	13,800	△859
その他の事業	5,939	2,090	△3,848	4,400	△2,309
調整額	165	58	△106	100	△41
経常利益	49,687	38,299	△11,388 (△22.9%)	44,600	△6,300 (△14.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益	32,468	19,923	△12,545 (△38.6%)	28,000	△8,076 (△28.8%)
設備投資額	82,215	91,599	+9,383	119,600	△28,000
減価償却費	46,727	49,628	+2,900	49,600	+28
有利子負債残高	715,293	741,027	+25,734	749,300	△8,272

## ■ 営業外・特別損益の主な内容

単位：百万円	2018年度	2019年度	増減・主な要因	
営業外収益	5,061	4,523	△538	
営業外費用	7,463	7,327	△136	支払利息5,372 (△456)
特別利益	4,016	6,315	+2,299	固定資産売却益4,708 (+2,943)
特別損失	8,509	8,616	+106	減損損失2,351 (+1,217) 災害損失引当金繰入額1,447 (+1,447) 固定資産除却損1,934 (△2,822)

※ 2019年10月の台風19号による被害に対する修繕・復旧に要する費用の見積額と、滅失資産の簿価相当額を「災害損失引当金繰入額」として計上

(参考) 災害損失引当金繰入額の内訳

(単位：百万円)

小田急電鉄	修繕・復旧に要する費用の見積額	328
箱根登山鉄道	修繕・復旧に要する費用の見積額	1,075
	滅失資産の簿価相当額	43
合計		1,447

左記の他に、箱根登山鉄道において流出した橋脚・橋桁の復旧費用を、2020年度の設備投資として計上する予定  
なお、これらの費用の一部については、災害復旧補助制度および保険の対象となる見込み

## ■ 連結範囲および持分法の適用の異動状況 (対前期末)

連結子会社43社 (2社減)

(減少) (株)江ノ電バス横浜 : (株)江ノ電バス (旧:(株)江ノ電バス藤沢) と合併 (2019年4月)

(株)ホテル小田急静岡 : プリーズベイホテル(株)へ株式譲渡 (2020年3月)

持分法適用会社1社 (変更なし)

## ■ 連結貸借対照表

単位：百万円	2018年度	2019年度	増減・主な要因
流動資産	129,601	131,791	+2,189 現金及び預金 +6,832
固定資産	1,182,831	1,196,512	+13,680 有形固定資産 +28,682
資産合計	1,312,433	1,328,303	+15,870
流動負債	383,386	377,494	△5,892
固定負債	539,866	560,626	+20,760 社債 +34,975
負債合計	923,253	938,120	+14,867
純資産合計	389,180	390,183	+1,002 利益剰余金 +12,164
負債純資産合計	1,312,433	1,328,303	+15,870

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円	2018年度	2019年度	増減・主な要因
営業キャッシュ・フロー	72,733	74,897	+2,163
投資キャッシュ・フロー	△80,094	△85,454	△5,360 有形固定資産の取得による支出の増加 △16,470
財務キャッシュ・フロー	△15,083	17,171	+32,254 社債の発行による収入の増加 +25,000
現金及び現金同等物の増減額	△22,444	6,613	+29,058
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	173	214	+40
現金及び現金同等物の期末残高	21,636	28,464	+6,828

# セグメント情報 (運輸業)



単位：百万円	2018年度	2019年度	増減・主な要因		2019年度見込 (2020年2月公表)	増減・主な要因	
営業収益	179,293	173,174	△6,118 (△3.4%)		177,700	△4,525 (△2.5%)	
鉄道業	135,557	132,083	△3,473	(△)箱根登山鉄道一部区間運休 (△)新型コロナウイルス影響	135,000	△2,916	
バス業	38,830	37,787	△1,042	(△)新型コロナウイルス影響	38,800	△1,012	
その他	9,448	7,677	△1,771	(△)箱根登山鉄道一部区間運休影響	7,800	△122	
調整額	△4,542	△4,373	+169		△3,900	△473	
営業利益	29,265	21,641	△7,624 (△26.1%)		24,400	△2,758 (△11.3%)	
鉄道業	26,814	22,043	△4,771	(△)当社償却費・修繕費増	24,300	△2,256	
バス業	1,695	32	△1,662	(△)償却費・人件費増	800	△767	
その他	1,167	△450	△1,618		△600	+149	
調整額	△411	16	+427		△100	+116	

## <フリーパス売上枚数 (対前年) >

箱根フリーパス	△41.1%
江の島・鎌倉フリーパス	△10.1%

## <小田急旅行センター利用者数 (対前年) >

乗車券等の購入者	△14.1%
----------	--------

## <箱根地区各社輸送人員 (対前年) >

箱根登山鉄道(鉄道)	△12.5%
箱根登山鉄道(ケーブルカー)	△35.9%
箱根ロープウェイ	△45.3%
箱根観光船	△21.6%
箱根登山バス(乗合業)	+2.6%

## <箱根エリア 営業収益 (対前年) >

単位：百万円	2018年度	2019年度	増減
箱根エリア*	21,780	17,708	△4,072
上期	10,694	9,948	△746
下期	11,086	7,760	△3,326
箱根登山鉄道(鉄道業)	3,083	2,670	△413
上期	1,503	1,564	+60
下期	1,580	1,106	△473

(参考)

・箱根大涌谷周辺の噴火警戒レベル引き上げにより、2019年5月19日より箱根ロープウェイ運休 (2019年10月26日より全線で運転再開)

・台風19号の影響により、2019年10月12日より箱根登山鉄道の箱根湯本駅～強羅駅間運休 (2020年7月下旬運転再開予定)

※ 運輸業の他に一部ホテル業も含む

<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

単位：千人	2018年度	2019年度	増減		
				上期	下期
定期	471,984	477,738	+5,754 (+1.2%)	(+4.2%)	(△1.9%)
通勤定期	342,359	349,361	+7,002 (+2.0%)	(+4.1%)	(△0.0%)
通学定期	129,625	128,377	△1,248 (△1.0%)	(+4.5%)	(△7.5%)
定期外	294,671	287,589	△7,082 (△2.4%)	(+3.0%)	(△7.7%)
合計	766,655	765,327	△1,328 (△0.2%)	(+3.7%)	(△4.2%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2018年度	2019年度	増減		
				上期	下期
定期	47,703	48,354	+651 (+1.4%)	(+4.2%)	(△1.6%)
通勤定期	41,013	41,755	+741 (+1.8%)	(+4.2%)	(△0.6%)
通学定期	6,689	6,599	△90 (△1.4%)	(+4.4%)	(△8.2%)
定期外	71,822	68,951	△2,870 (△4.0%)	(+2.1%)	(△10.0%)
旅客運輸収入計	119,525	117,306	△2,219 (△1.9%)	(+3.0%)	(△6.7%)
運輸雑収	3,838	3,798	△39 (△1.0%)	(+2.4%)	(△4.2%)
運輸収入合計	123,364	121,105	△2,259 (△1.8%)	(+3.0%)	(△6.6%)

■ 営業費

単位：百万円	2018年度	2019年度	増減
営業費 合計	97,601	98,801	+1,200
人件費	28,064	28,393	+328
修繕費	8,245	8,603	+357
動力費	5,971	5,879	△92
固定資産除却費	2,458	1,391	△1,067
減価償却費	23,820	24,628	+808
その他	29,040	29,906	+865

# セグメント情報（流通業）



単位：百万円	2018年度	2019年度	増減・主な要因		2019年度見込 (2020年2月公表)	増減・主な要因	
営業収益	210,681	206,563	△4,117 (△2.0%)		208,200	△1,636 (△0.8%)	
百貨店業	142,875	136,775	△6,099	(△)リニューアルによる売場面積減※1 (△)新型コロナウイルス影響	138,200	△1,424	
ストア・小売業	66,847	68,258	+1,410	(+)ストア新規出店	68,300	△41	
その他	7,901	8,022	+120		8,500	△477	
調整額	△6,943	△6,492	+450		△6,800	+307	
営業利益	2,960	4,373	+1,413 (+47.7%)		4,300	+73 (+1.7%)	
百貨店業	2,766	4,391	+1,625	(+)人件費減	4,300	+91	
ストア・小売業	233	154	△79		-	+154	
その他	△1	△134	△133		-	△134	
調整額	△38	△37	+0		-	△37	

※1 前期に町田店・藤沢店のリニューアル工事を実施

※2 小田急百貨店藤沢店は、2019年3月22日より「小田急百貨店ふじさわ」に転換、前年比は旧藤沢店との比較も含む

<百貨店業：営業収益内訳（実績・対前年）>

百貨店業	新宿店	91,793	(△4.3%)
	店頭	86,990	(△3.8%)
	町田店	30,430	(△0.5%)
	ふじさわ※2	6,260	(△28.2%)
その他	8,290	(+7.8%)	
合計	136,775	(△4.3%)	

<百貨店業：免税売上高（対前年）>

新宿店	△10.6%
-----	--------

<ストア・小売業：小田急商事 ストア部門売上高（対前年）>

全店	+3.8%
既存店※3	+1.6%

※3 2019年度に事業管理区分をストア業に変更した店舗を除く

# セグメント情報（不動産業）



単位：百万円	2018年度	2019年度	増減・主な要因		2019年度見込 (2020年2月公表)	増減・主な要因	
営業収益	69,006	80,478	+11,472 (+16.6%)		83,000	△2,521 (△3.0%)	
不動産分譲業	31,818	40,902	+9,083	(+)販売戸数増（海老名ターマンション販売）	42,900	△1,997	
不動産賃貸業	41,796	44,044	+2,247	(+)新規開業物件寄与	44,100	△55	
調整額	△4,608	△4,468	+140		△4,000	△468	
営業利益	13,759	12,940	△819 (△6.0%)		13,800	△859 (△6.2%)	
不動産分譲業	1,769	866	△903	(△)前期海老名ターマンション用地販売反動 (△)前期都心リノベーション物件販売反動	1,400	△533	
不動産賃貸業	12,722	11,315	△1,407	(△)当社新規物件取得による費用増	11,600	△284	
調整額	△733	758	+1,492	(+)前期海老名ターマンション用地販売反動 (+)海老名ターマンション販売	800	△41	

## <分譲業：小田急不動産 販売戸数>

単位：戸・区画	2018年度	2019年度	増減
戸建	78	125	+47
マンション	123	268	+145
土地	41	22	△19
合計	242	415	+173

# セグメント情報（その他の事業）



単位：百万円	2018年度	2019年度	増減・主な要因		2019年度見込 (2020年2月公表)	増減・主な要因	
営業収益	106,937	112,256	+5,318 (+5.0%)		116,000	△3,743 (△3.2%)	
ホテル業	31,106	31,839	+733	(+)新規開業物件寄与 (△)新型コロナウイルス影響	34,300	△2,460	
レストラン業	20,423	19,458	△964	(△)新型コロナウイルス影響	20,100	△641	
その他	61,267	67,784	+6,517	(+)前期末ヒューマンック連結子会社化	68,100	△315	
調整額	△5,859	△6,826	△967		△6,500	△326	
営業利益	5,939	2,090	△3,848 (△64.8%)		4,400	△2,309 (△52.5%)	
ホテル業	737	△2,070	△2,807	(△)人件費増、新規開業物件費用増	△500	△1,570	
レストラン業	344	△136	△481		300	△436	
その他	5,022	4,954	△68		4,900	+54	
調整額	△164	△657	△492		△300	△357	

## <ホテル業：客室稼働率>

	2018年度	2019年度	対前年
ハイアット リージェンシー 東京	87.2%	75.9%	△11.3P
ホテルセンチュリーサザンタワー	92.4%	80.3%	△12.1P
山のホテル	78.0%	68.5%	△9.5P
箱根ハイランドホテル	80.2%	66.9%	△13.3P
ホテルはつはな	85.5%	79.8%	△5.7P

## <ホテル業：外国人宿泊者比率>

	2018年度	2019年度	対前年
ハイアット リージェンシー 東京	78.3%	77.8%	△0.5P
ホテルセンチュリーサザンタワー	70.3%	71.7%	+1.4P

単位：百万円	2018年度	2019年度	増減	2019年度見込 (2020年2月公表)	増減
資産	1,312,433	1,328,303	+15,870	-	-
運輸業	682,268	682,223	△45	-	-
流通業	74,073	72,653	△1,420	-	-
不動産業	391,602	396,030	+4,427	-	-
その他の事業	119,170	137,514	+18,343	-	-
調整額	45,318	39,882	△5,435	-	-
設備投資額	82,215	91,599	+9,383	119,600	△28,000
運輸業	43,135	40,940	△2,195	45,600	△4,659
流通業	11,058	5,498	△5,559	7,000	△1,501
不動産業	20,931	29,547	+8,616	51,000	△21,452
その他の事業	7,090	15,612	+8,521	16,000	△387
調整額	-	-	-	-	-
減価償却費	46,727	49,628	+2,900	49,600	+28
運輸業	30,888	32,392	+1,503	32,300	+92
流通業	3,663	3,791	+127	4,000	△208
不動産業	9,038	9,374	+336	9,200	+174
その他の事業	3,378	4,151	+773	4,200	△48
調整額	△241	△82	+159	△100	+17

## 2020年3月期 配当予想について

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2020年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益が予想を大きく下回る結果となったことを踏まえ、誠に遺憾ながら期末配当金の予想を10円（前回予想11円）に修正します。

※ 年間配当金予想21円（前回予想22円）

## 2021年3月期 業績予想および配当予想について

新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しが立てられない状況下、現時点で営業収益への影響や今後の対応策を反映した数値計画を合理的に策定することが困難なため、2021年3月期の業績予想および配当予想は未定とします。

単位：百万円	2018年度	2019年度	増減	2019年度計画 (2019年4月公表)	増減
営業収益	526,675	534,132	+7,456	557,800	△23,667
営業利益	52,089	41,103	△10,986	52,500	△11,396
経常利益	49,687	38,299	△11,388	49,400	△11,100
当期純利益 ※ 1	32,468	19,923	△12,545	33,000	△13,076
設備投資額	82,215	91,599	+9,383	119,600	△28,000
減価償却費	46,727	49,628	+2,900	49,600	+28
E B I T D A	98,817	90,731	△8,085	102,100	△11,368
有利子負債	715,293	741,027	+25,734	749,300	△8,272
有/E倍率 ※ 2	7.2倍	8.2倍	+1.0 P	7.3倍	+0.9 P
R O A ※ 3	4.2%	3.2%	△1.0 P	4.0%	△0.8 P
R O E ※ 4	9.7%	5.6%	△4.1 P	9.0%	△3.4 P

※ 1 親会社株主に帰属する当期純利益

※ 2 有利子負債/E B I T D A倍率

※ 3 営業利益/総資産（有価証券評価差額除く）

※ 4 親会社株主に帰属する当期純利益/純資産（有価証券評価差額除く）

# 小田急電鉄株式会社

## 注意事項

スライドに記載されている、計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは開示時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。

したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。